

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 20 日作成)

小委員会名	情報社会デザイン小委員会		主 査 名：篠崎道彦 就任年月：2005 年 4 月																																																
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会		委員長名：新宮清志																																																
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月																																																		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的：情報社会の生活や環境デザインの方法，それらを支える空間情報の利活用とマネージメントの技術などを切り口として，「情報社会」と「デザイン」の関係について考える。</p> <p>活動計画：本小委員会には，トランスネットワーク WG，環境情報デザイン WG，都市・地域計画情報 WG，ファシリティのあり方 WG の 4 つの WG を設置し，WG 単位の活動を中心に据える。</p> <p>(2005 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小委員会を年 3 回開催し，各 WG の情報交換による相乗効果を生み出す場とする。WG は情報シンポジウムにおいて活動報告を行う。</li> </ul> <p>(2006 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小委員会を年 5 回程度開催し，各 WG の情報交換による相乗効果を生み出す場とする。特に，活動 2 年目を迎える 2006 年度は，各 WG の中間成果を踏まえ，発表と議論の場を積極的に設け，必要に応じ相互の連携も強化する。また，外部にも開いた情報提供・交換の場を設ける。</li> </ul> <p>(2007 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前半 2 年間の活動を踏まえ WG の編成を見直した上で後半の活動を展開する。</li> <li>・ 大会研究集会を企画・実施する。</li> </ul> <p>(2008 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動成果をとりまとめる。</li> </ul>																																																		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">主査</td> <td style="width: 20%;">篠崎 道彦</td> <td style="width: 20%;">芝浦工業大学</td> <td style="width: 50%;">システム工学部環境システム学科</td> </tr> <tr> <td>幹事</td> <td>石首根 栄之</td> <td>(株)アイティユー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幹事</td> <td>本江 正茂</td> <td>東北大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>大内 宏友</td> <td>日本大学生産工学部</td> <td>建築工学科</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大場 亨</td> <td>市川市</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>沖塩 莊一郎</td> <td>東京理科大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>河中 俊</td> <td>国土交通省国土技術政策総合研究所</td> <td>都市研究部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山田 邦夫</td> <td>(株)システムスタジオ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>仲 隆介</td> <td>京都工芸繊維大学</td> <td>繊維学部デザイン経営工学科</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中西 泰人</td> <td>慶應義塾大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>元永 二郎</td> <td>フリー</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>渡邊 朗子</td> <td>慶應義塾大学大学院</td> <td>政策・メディア研究科</td> </tr> </table>			主査	篠崎 道彦	芝浦工業大学	システム工学部環境システム学科	幹事	石首根 栄之	(株)アイティユー		幹事	本江 正茂	東北大学			大内 宏友	日本大学生産工学部	建築工学科		大場 亨	市川市			沖塩 莊一郎	東京理科大学			河中 俊	国土交通省国土技術政策総合研究所	都市研究部		山田 邦夫	(株)システムスタジオ			仲 隆介	京都工芸繊維大学	繊維学部デザイン経営工学科		中西 泰人	慶應義塾大学			元永 二郎	フリー			渡邊 朗子	慶應義塾大学大学院	政策・メディア研究科
主査	篠崎 道彦	芝浦工業大学	システム工学部環境システム学科																																																
幹事	石首根 栄之	(株)アイティユー																																																	
幹事	本江 正茂	東北大学																																																	
	大内 宏友	日本大学生産工学部	建築工学科																																																
	大場 亨	市川市																																																	
	沖塩 莊一郎	東京理科大学																																																	
	河中 俊	国土交通省国土技術政策総合研究所	都市研究部																																																
	山田 邦夫	(株)システムスタジオ																																																	
	仲 隆介	京都工芸繊維大学	繊維学部デザイン経営工学科																																																
	中西 泰人	慶應義塾大学																																																	
	元永 二郎	フリー																																																	
	渡邊 朗子	慶應義塾大学大学院	政策・メディア研究科																																																
設置 WG (WG 名：目的)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 都市・地域計画情報WG：情報化社会に対応しつつ、同時に地域のコミュニティとも融合するデジタルコミュニティの構築に対応しえる都市・地域計画手法の提案を行う。</li> <li>2. 環境情報デザインWG：情報社会デザイン形成にむけて環境デザインの側面から考察、活動する。</li> <li>3. トランスネットワークシティWG：建造環境と情報環境を横断するトランスネットワーク的な事象についての情報収集と共有・討議をすすめ、具体的な研究プロジェクトを行う。</li> <li>4. ファシリティの在り方WG：情報化・ユビキタス社会において、施設に関わる人・物・お金・時間等の相関について考え、公共施設を始めとするファシリティのあり方の研究、そのマネジメントに有効な IT 活用方法の研究を行う。</li> </ol>																																																		
2006 年度予算	236,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有</p> <p>委員会 HP アドレス：<a href="http://news-sv.ajj.or.jp/jyoho/M010/">http://news-sv.ajj.or.jp/jyoho/M010/</a></p>																																																	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は 除く）	
講習会	
催し物 （シンポジウム・セミナー・ 研究会・見学会等）	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得ら れた成果との関係）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小委員会を 2 回開催。ML 上で WG の新設 ,大会 PD 企画等の議論を行った。</li> <li>2. FMWG ではワークスペースの見学・事例発表（IBMBCS, 日本 IBM 箱崎事業所, 寺岡製工新オフィス）などを行った。</li> <li>3. WG の活動に停滞傾向がみられたため, 現在の WG の内容・組織を見直し, 次年度から新たな WG として, 「空間生命化デザイン WG」, 「拡張された建築のデザイン研究 WG」, 「生命環境モデル WG」, 「ファシリティデザイン &amp; マネジメント WG」を設置して活性化を図ることとした。</li> <li>4. 前半の成果の取りまとめを 2006 年 3 月に予定していたが, 新たな展開を目指して 2007 年度大会 PD として「空間生命化と都市・建築の未来」を企画することとした。</li> </ol>
委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学際的かつ内容が多岐にわたる WG を中心とした活動を展開しているため小委員会としては, 連携と相乗効果を生み出す場づくりをどのように行うことが課題である。</li> <li>2. WG 委員がのべ 40 名を超えるが, 予算原案作成時に小委員会委員による旅費算定しか認められないため, 十分な予算確保ができない。</li> </ol>
その他	